

スコット・グレイ「最近のLPG海上貿易動向」

～6月25～27日香港LPGセミナー1（プレゼンテーション資料より）～

IHSマーケット社が主催する国際LPGセミナーが6月25～27日に香港で開かれ、多数のLPG関係各社や有識者・ジャーナリストが参加した。昨年まではシンガポールを舞台に開かれていたが、今年は香港で開催された。日本勢を含め18社がLPG市場動向などの最新動向を報告した。いずれも著名なアナリストや研究機関が報告・公開した資料のうち、とりわけ重要と思われるものを選び、予断をいれることなくその概要を紹介する。

まず第1回目はIHS社のシニアディレクターのスコット・グレイ（Scott Gray）氏の“Trends in Waterborne LPG Trade”。

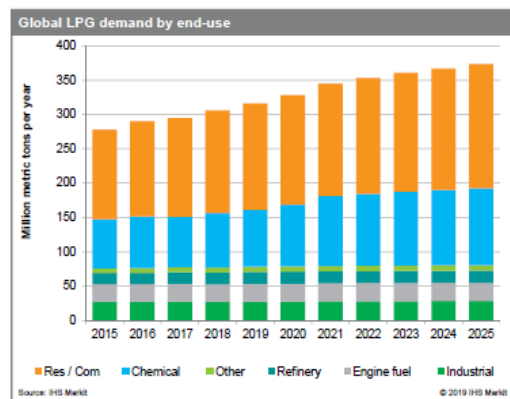
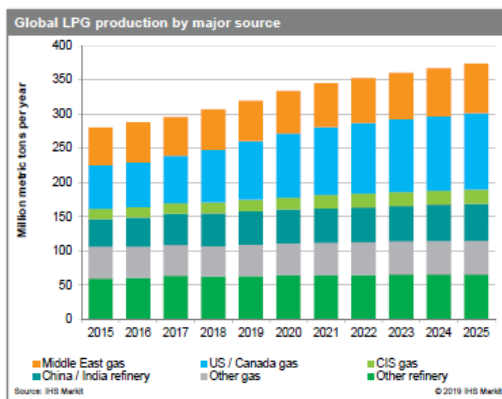
1. 世界のLPG需給状況はどうなっているか。

世界のLPG供給量は増加している。ただ、それを主導しているのはいくつかの国・地域に限られている。

- ① 2018年の主要ソースのLPG生産量は3億ト強。中東・北米・CIS・中国・インドなど。中国とインドは製油所分生産。
- ② 2019年の生産量は3億2千万ト、2020年3億3千万ト、2022年3億5千万ト、2025年3億7千万ト
- ③ 生産量が伸びるのは北米。中東・CIS・中印は微増。

世界のLPG需要は増加を続けるが、用途別には家庭業務用と化学原料用で大幅に伸びるだけで、他の用途は横ばい。

- ① 2018年世界需要 約3億5百万ト、2019年3億1千万ト、2020年3億3千万ト、2025年3億7千万ト
- ② 家庭業務用需要 2018年1億5千万ト、2019年1億6千万ト、2020年1億8千万ト、2025年1億9千万ト
- ③ 化学原料用需要 2018年8千万ト、2019年9千万ト、2020年1億ト、2025年1億2千万ト



Confidential. © 2019 IHS Market. All Rights Reserved.

2. 世界のプロパン生産量は大幅に増加していくが、そのほとんどは米国とカナダの天然ガス由来のもの。

- ① 2018年世界のプロパン生産量1億6千万トﾝ 2019年1億7千万トﾝ 2020年1億8千万トﾝ 2025年2億トﾝ
- ② プロパン生産量は北米で大幅増加, 中東・中印(製油所分)は微増。他は横ばい。

3. 世界のブタン生産量は北米と中東で増加するほか, 中印の製油所でも増加する。需要はラテンアメリカの家庭業務用で大幅に伸びる。

4. LPGの海上輸出～米国から世界へ～

LPG輸出の圧倒的数量は北米と中東からのもの。主としてプロパン輸出。

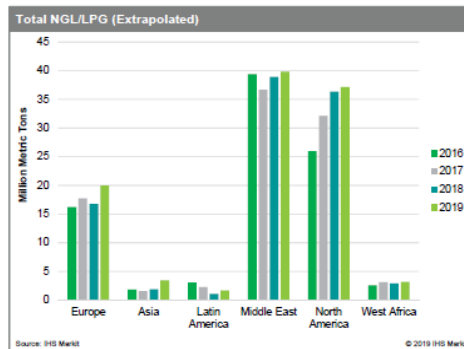
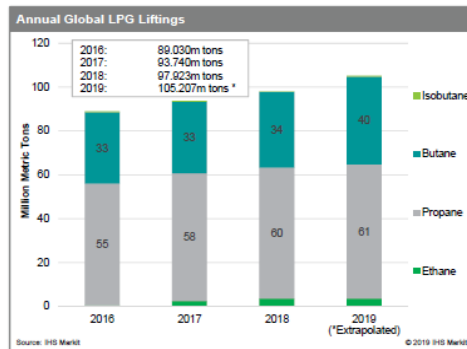
- ① LPG輸出量 2016年8,900万トﾝ 2017年9,400万トﾝ 2018年9,800万トﾝ 2019年(推定)1億500万トﾝ

- ② LPG輸出量(プロパン・ブタン別)(単位・万トﾝ)

	2016	2017	2018	2019
プロパン	5,500	5,800	6,000	6,100
ブタン	3,300	3,300	3,400	4,000
その他	100	200	400	400

(注) その他のほとんどはエタン。

- ③国別・地域別LPG/NGL輸出状況：中東の輸出が最大だが、北米が急追。2019年には北米は3,600万トﾝを超える。中東は4,000万トﾝ。ヨーロッパが2,000万トﾝ。

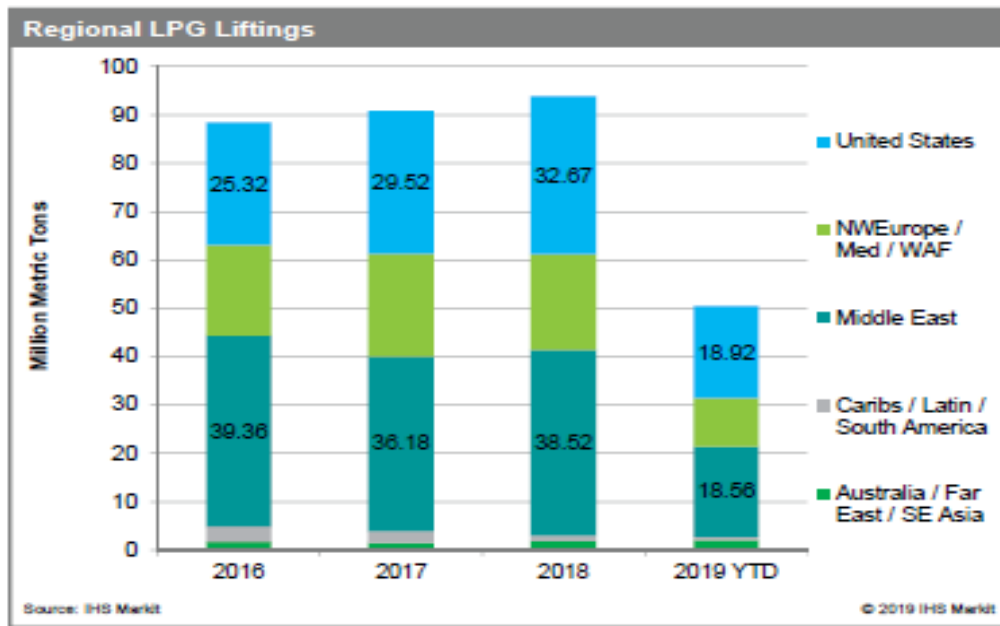


- ④LPG海上輸出量の東西・中東別数量(単位・万トﾝ)

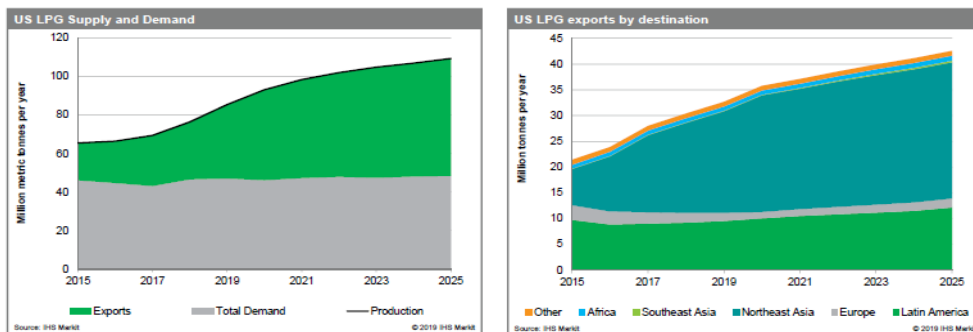
	2016	2017	2018	2019(1~5月)
中東	3,936	3,618	3,852	1,864
スエズ以西	4,728	5,312	5,351	3,026
スエズ以东	182	155	186	232

5. LPG海上輸出は米国が増加するのを除いてどの地域もよくて横ばい

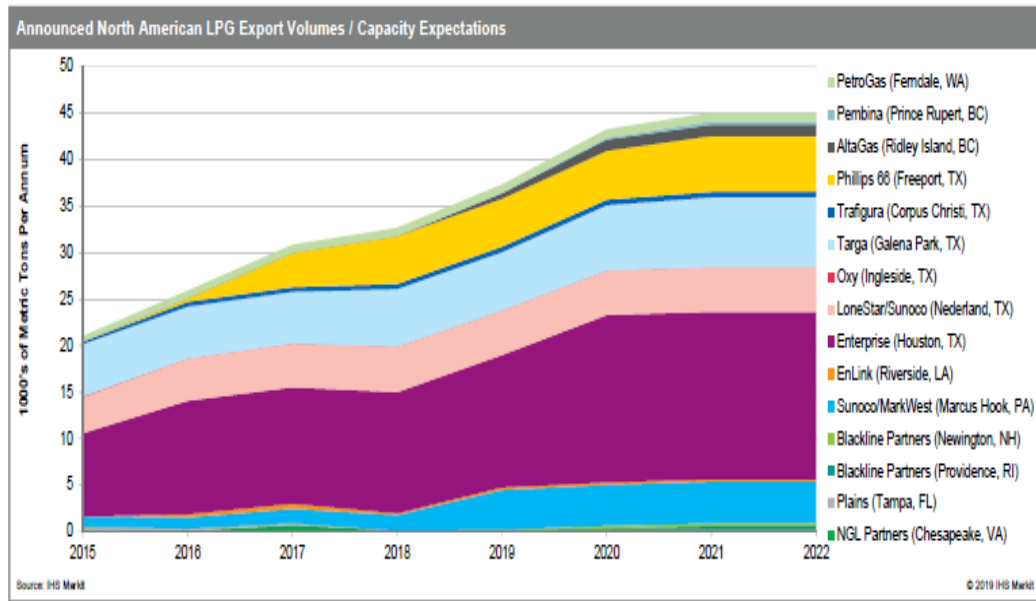
中東2016年3,936万トﾝ, 2017年3,618万トﾝ, 2018年3,852万トﾝ, 2019年1~5月1,864万トﾝ。米国2016年2,532万トﾝ, 2017年2,952万トﾝ, 2018年3,267万トﾝ, 2019年1~5月1,892万トﾝ。



- 6. 米国での LPG 生産量の急増で LPG 輸入量は減少し輸出量は増加する。
 2010年1月の米国のLPG輸入量は20万トだったが、2019年3月は2万ト。
 2010年1月の米国のLPG輸出量は20万トだったが、2019年3月は370万トに。



- 7. 北米 LPG の生産量増大に伴って、LPG 輸出能力も拡大。
 北米 LPG 輸出ターミナル能力の変化。
 2015年 2,102万ト 2016年 2,590 2017年 3,083 2018年 3,266
 2019年 4,005 2020年 4,724 2021年 5,053 2022年 5,053
- 8. 北米のLPG生産増で各企業（主要オペレーター）が輸出ターミナルの能力を拡張。
 - ①インドへの輸出も米国のターミナルから。
 - ②カナダのアルタガスのリドリー・アイランド（ブリティッシュコロンア州）のターミナルからの輸出も2019年第2四半期から始まる。

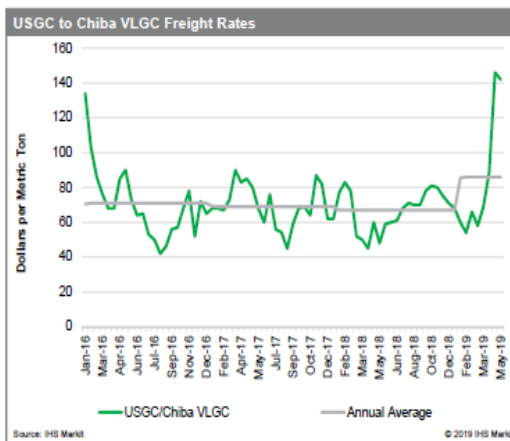
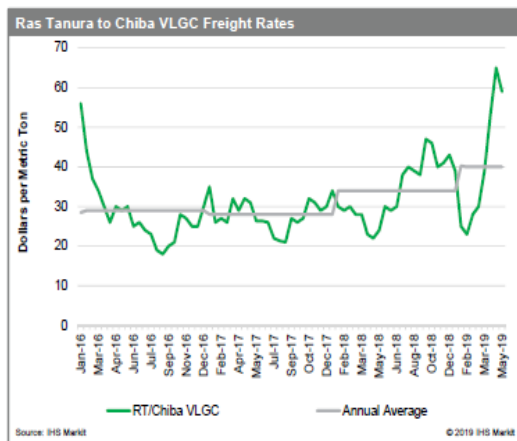


9. LPG 取引航路と VLGC フレート及びターミナル・フィ

①ラスタヌラ～千葉のフレートは 2016～2018 年前半までは平均 30 ドル／トンで推移。2018 年後半から上昇。2019 年初めに 20 数ドルに下がるも、3 月から急騰し 4 月には 60 ドルを超える。

②USGC～千葉は 2016 年初め 130 ドル／トン台。2016 年 4 月～2019 年 3 月まで 40～90 ドル（平均 70 ドルどころ）で乱高下。2019 年 4 月急騰し 140 ドル超に。

③米国のターミナル・フィは 2014～2015 年には 70 ドル／トン前後の高値だったが、2016 年から下落。2017 年には 30 ドルとなった。しかし、2019 年に入って高騰しており、4 月には 50 ドル程度となっている。



10. VLGCの新建造（引き渡し・発注）隻数と累計隻数

- ① 2019年5月現在のVLGC隻数は273隻
- ② 2019年9～12月の新建造（引き渡し）隻数は7隻。累計隻数280隻。
- ③ 2020年1～9月の新建造（引き渡し）隻数は13隻。累計隻数293隻。

